



凌雲台

龍野小学校 学校便り

<No.2> H30.5.31
文責：校長 江上 知男

龍野小学校運動会 大変お世話になりました



開会式の様子(団長選手宣誓)

心配された天候も奇跡的に回復し、平成30年度の運動会が予定通り開催されました。多数のご来賓の皆様や地域、保護者の皆様、には大変お世話になりました。また、竜野保育園、校区老人会、体協、消防団の皆様には運営にご協力いただき、心から感謝申し上げます。

今年の運動会は、「今こそ絆を深め、心をついに、最高の運動会」というスローガンのもと、2週間を超える時間をかけて競演技の練習を積み重ねてきました。職員も体育主任を中心に子どもたちを指導し、子どもと職員が一致団結して運動会を創り上げることができました。

さて、最近「運動会は必要か？」という質問を受けることがあります。私は、子どもたちに次の4つの経験をさせるという点で、運動会はどうしても必要な行事だと考えています。

① 勝つために全力を尽くす経験(体力、団結力・連帯感、フェアプレーの精神等の向上)

- ・勝敗を競うことや「絶対に負けない」という気持ちは貴重ですし、子どもの力を伸ばします。
- ・「フェアプレー」と「勝敗を受け入れる態度」は重要です。相手がいてこそその勝ち負けです。お互いの健闘を讃え合うことはスポーツの基本です。スポーツをずっと楽しむために必要な経験です。

② 集団での行動を徹底する経験(規律ある態度、相手意識、集中力等の向上)

- ・「集合時間を守る」「すばやく動く」「人と合わせて動く」などの集団での行動は、多少きつなくても「全体のことを考えて動く」機会になります。自立した社会人になるために必要な経験です。

③ 高学年がイベントを運営する経験(責任感、協力、自尊感情、成就感等の向上)

- ・高学年の子どもたちは、競演技をしながら運動会の運営や応援団に関わります。これは、大変なことですが、みんなで1つのものを「創り上げる」「やり遂げる」楽しさを味わう貴重な経験です。

④ 龍野小学校の「よさ」を地域に発信する経験(表現力、発信力等の向上)

- ・運動会は「体育の学習発表会」です。学校の「よさ」は、実際に子どもたちの姿を見れば、一目瞭然です。それを地域の方々に認めて、ほめてもらうことで子どもたちの地域を思う心が育ちます。

今年の運動会を見ていて、「子どもたちの真剣な眼差し」に感動しました。そして子どもたちの姿に、涙を流しながら見ている地域の方の姿がありました。運動会は、子どもたちの力を高めるだけでなく、学校と地域の「架け橋」になっていることを確信しました。

「チーム龍野小」の一員が増えました！



龍野小学校には、前号で紹介した学校職員以外に学校教育を支える方々がいます。昨年度から引き続き、毎週金曜日に図書室の司書の仕事をしてくださる中島理恵先生や、ALTとして英語の授業をしてくださるサングスター先生夫妻です。でも、今年からもう一人新たに加わりました。市下潤子地域コーディネーターです。学校の授業や整備をしてくださる地域のボランティアを紹介したり、子どもたちが地域行事や地域で学ぶ場合の連絡等をしたりする仕事です。

これから不定期ですが、週に1回程度学校で勤務し、学校と地域の「つなぎ役」をしていただきます。地域の皆様が、「ボランティア」として学校や地域で子どもたちとかかわり、学校と一緒に龍野小学校の子どもたちを育成していただくことを心から願っています。